地域医療連携センター

センター長　塚田暁

はじめに

当院が高度急性期の医療体制を維持していくためには、地域の先生方との個別具体的な連携＝アライアンス連携を拡大し、患者さんが必要な時に・必要な場所で・必要な医療を受けられる「地域完結型医療」を構築していくことが何より重要だと感じています。

人口減少社会における当院の役割を改めて考えつつ、地域の皆様とともに高知県の医療をより良くするために邁進していく所存ですので、引き続き当センターへのご支援・ご指導をよろしくお願い致します。

前方連携【患者さんの受け入れについて】

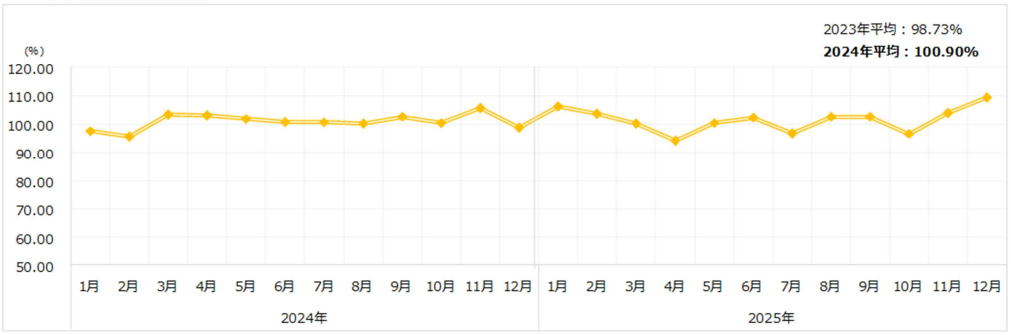
地域医療支援病院の紹介率は年間平均 101.29%（昨年は 100.90%）と前年同様の推移となりました。

病院全体の紹介総数は前年比 513 件の減少となりました。そのうち当センターを介しての紹介患者さんの受け入れ件数は年間合計 5,993 件と前年比で 125 件のマイナスとなりましたが、前年は乳腺外科の受け入れがあったため、その分を除くと、338 件増となっています。

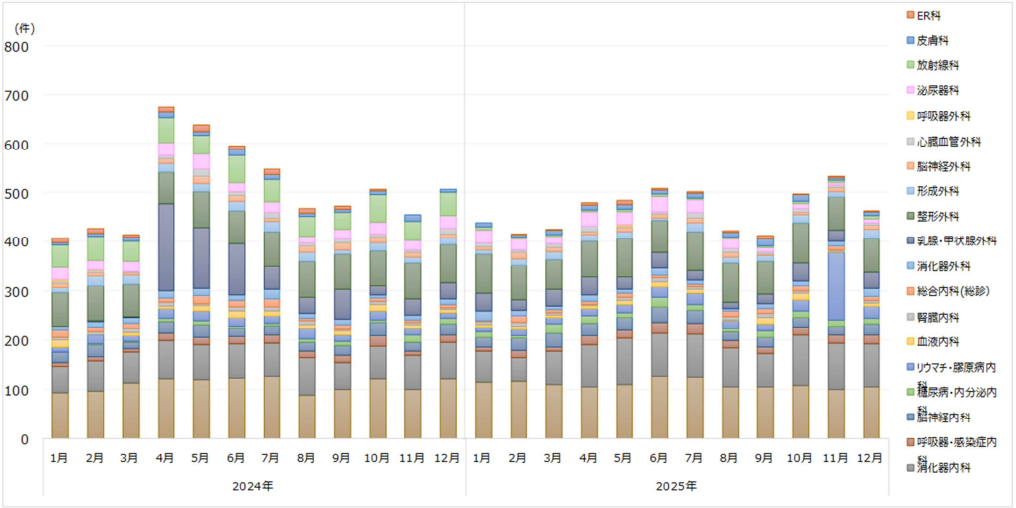
消化器内科が 160 件増となり、新たに紹介予約を開始した若手医師が増え、消化器内科への受け皿を大きくできたことが要因かと考えています。当センターとしては丁寧かつ迅速な予約調整を行い、信頼を高めていけるよう引き続き努力して参ります。

次に、やむをえず紹介をお断りした件数は前年比で 42 件の減少となりました。内訳としてはベッド確保困難が 58.4%、対応困難が 28.6%、適応外その他が約 13.6%でした。

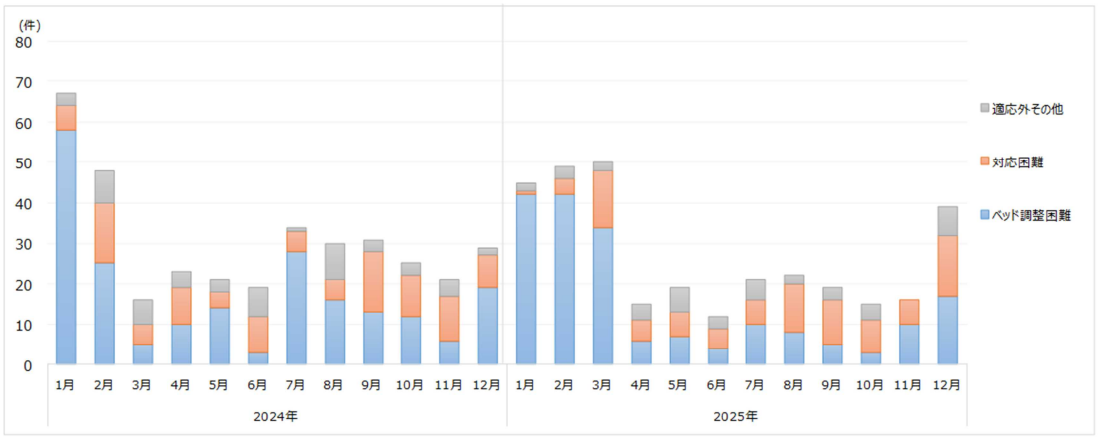
1．地域医療支援病院紹介率



2．地域医療連携センター経由　紹介患者受け入れ数



3．紹介お断り件数

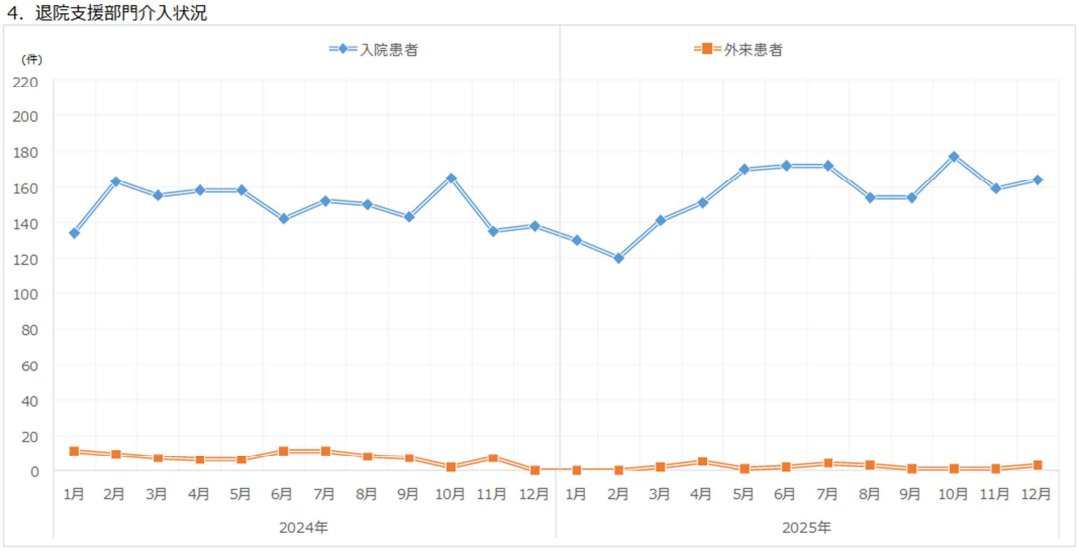


後方連携【患者さんの退院・転院支援について】

在宅看取りを含め地域を支える医療機関や関連事業所、そして、急性期後の患者さんの転院支援をおこなう回復期や療養機能をもつ医療機関との連携に取り組みました。カンファレンスや訪問・来訪の機会を重視し、具体的なケースを通じて現状と課題を確認、話し合いました。

また、2025 年は地域連携推進法人高知メディカルアライアンスの参加施設が増え、9 月からは新たなシステムであるコマンドセンターが本稼働となりました。これにより、連携施設との情報共有やコミュニケーションが進んでいます。転院支援のスピードや質の向上へとつながるよう、引き続き取り組みます。

4．退院支援部門介入状況



人事面について

2025 年 12 月末現在で医師 1 名・看護師 4 名・SW14 名・事務 6 名(非常勤含む)の総勢 25 名の体制となっています。